

第 1 回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

1 第 2 期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定について

No.	主なご意見等	回答・対応
1	・今後に向けて、前提の部分である土浦市総合計画との関係性の読み込みができる新たなプランニングができるような組立てで進めて行ってほしい。	・総合計画との関連性を踏まえて、計画策定に当たりたい。

2 第 1 期土浦市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」の進行管理について

No.	主なご意見等	回答・対応
1	・資料 P. 53 地方創生関係交付金事業（加速化交付金）の事業 No3 「ICT などを活用した商都復活支援事業」の KPI について達成率が低いようだが、原因と今後の対策はどう考えているか。	・目標達成には時間を要することから、今後、加工品や農林水産物を土浦市ブランドとして認定する土浦ブランドアッププロジェクト推進事業の更なる推進を図っていきたい。
2	・資料 P. 10 「基本施策ごとの KPI 達成状況一覧表」戦略分野Ⅲ 基本施策② 子育て関連の事業については達成率が低く、要因としては基準値からすると目標値が少し高いのではないかと思うが、何か理由があったのか。	・目標値は、各々の個別計画から設定しているものであり、達成率が低いものについては、事業の見直しを行い、目標値の達成に近づけるよう、現在、段階的な目標値を設定して事業を実施している。
3	・資料 P. 14 (4) 各戦略分野の実施状況基本施策② 交流人口の拡大による地域経済の活性化 における「観光入込客数」の KPI 達成率が良いが、ここまで達成できた理由は何かあるのか。	・観光入込客数には各種イベント等既存の観光資源に加え、サイクリング自転車関係等新たな観光資源による来訪者が増加しているのが要因と思われる。

3 第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定に向けた土浦市の人口動向分析・将来人口推計の素案について

No.	主なご意見等	回答・対応
1	<ul style="list-style-type: none"> 人口流動を抑制できるのは、交通インフラの影響が大きく、土浦は指数が下降傾向に対して、牛久市・つくば市は高いところで推移しているのは、まさに交通利便性の部分がある。人口流出防止等にはスマートインターを設置するといったハード面と、若い世代に合わせた環境の変化に合わせていくソフト面の施策を、長いスパンで一体となってやっていかなければならないのかなと思う。 費用対効果を現状の中だけではなく、費用をこれだけ掛ければこういう策を講じられるといったプラスの効果をもたらす施策の検証も必要であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> TX 沿線であるつくば市、つくばみらい市、常磐線沿線ではひたち野うしくを擁する牛久市辺りは人口増加傾向、その他の地域は少なからず減少傾向を示している。 ハード面に関しては、費用対効果をよく検証しなければならないことから、今後の第2期計画策定に向けては、ハードソフト両面での対策も含め、検討を進めたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> これから施策を考えていく中で、外国人登録者の傾向についても把握しているという状況であるので、きちんと今後の人口対策には盛り込んでいくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 第2期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（素案）P.31 で参考資料として盛り込んでおり、今後計画策定の中で検討を進めたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画という点では、女性については啓発参加型の施策は通り越しているので、そういった施策は男性に参加してもらえる取組を考えてほしい。また、市から市民団体へ予算を下ろす時等には、市民が実施するのに際して裁量範囲の広い自由度の高い枠組みの施策を考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後男女共同参画に関連した事業等を実施する際には、今回の御意見を参考にさせていただきたい。また、市民団体の裁量範囲の広い枠組みの施策としては、市民自らが実践するまちづくり活動に対する補助事業として、協働のまちづくりファンド事業を実施していますので、当該事業の活用も検討していただきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> 現状の施策・事業を見ると、「霞ヶ浦」という言葉が出てこないのは非常に残念。「霞ヶ浦」という大きな資源があるので、これを生かした様々な角度から事業を考えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ浦は、本市にとって大きな資源と考えている。現在、交流人口の拡大を図る等の目的で、霞ヶ浦流域での自転車関連の施策も県と連携して始まっているところであり、戦略分野Ⅰ 基本施策② 交流人口の拡大による地域経済の活性化の中で、また、第8次総合計画のリーディングプロジェクトの中にも霞ヶ浦関連の施策を位置付けているので、「霞ヶ浦」を生かした施策を様々な角度から検討していきたい。

第1回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

No.	主なご意見等	回答・対応
5	<ul style="list-style-type: none"> ・検討の材料となるので、他の県内自治体や都内又は千葉県柏市辺りの人口流動状況(土浦からの転出, 土浦への転入等)をデータとして提供してもらえればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(素案) P.21~P.27で詳細に提示する。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・市外の方が訪れるイベントで土浦市をPRできるものがなかったのが残念に思った。土浦市に住む, また, 訪れる場合のメリットを, 市外の方が受け取れるようなメッセージ性のあるパンフレットを各所に置いたり, 配布したりできるようにしてほしい。 ・霞ヶ浦関連や常磐線活用促進等のイベントに参加した中でも, 土浦市を知らない方がかなりいるのを感じているので, 課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市のPRについては, 観光ガイドブック「遊覧都市つちうら」を始め, PRに活用できる各種パンフレットを発行している。また, シティプロモーション推進室を設置して, 市のPRをしているところであるが, 他市との比較により土浦市の優れている点をPRしていくような施策についても取り組んでいきたい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と市がもっとコミュニケーションを密にして, 連携して施策に取り組んでいければ, 効果的だと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一例として, 「市民と市長のまちかどトーク」や「工業団地協議会」において地元企業と意見交換を行っており, 今後も, こうした機会を活用して, 地元企業との連携を深めていきたい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・常磐線利用促進についての今後の考え方を伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常磐線利用促進については, 「JR東日本(株)への要望活動」の結果として, 平成27年3月に常磐線の東京駅・品川駅への乗入れ, 平成29年10月に土浦方面からの朝通勤時間帯等の東京駅・品川駅への乗入れを実現しているが, 今後も, 茨城県や沿線自治体と連携して, JR東日本(株)への要望活動, 常磐線利用促進に関する啓発活動などを継続的に実施する。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら子どもを育てられる環境づくり, また, 保育士が少ない状況下にあることから, 保育士確保のための職員の処遇改善について, 引き続き考えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の処遇改善については, 平成30年から民間保育所等運営補助事業により, 保育士等が働きやすい環境の整備を支援しており, 今年度は補助内容を拡充しているところである。他方, 他市との保育士の確保競争になってしまうという難しい状況にもあることから, 今後, 更に変化する状況を見据えながら事業の検証を進めたい。

第1回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

No.	主 な ご 意 見 等	回 答 ・ 対 応
10	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少して影響が出てきているのが、労働団体に関連する中で、特に工場の操業に支障がでてくる。その辺りで、特に外国人の受入れについて考慮してもらいたい。 ・労働者の確保の観点では女性、外国人、高齢者をいかに活用できるかになってきている。外国人労働者をより多く雇用しようという流れには間違いなくなるし、国の規制も緩和していくであろうと思われる。そこで、外国人が暮らしやすい街づくりといったソフト面での施策は、キーになってくるかと思う。 ・商工会議所でも人材不足は課題となっており、外国人の受入れについては、中小企業にとって重要な問題であるので、一緒に考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が暮らしやすいまちづくりとして、これまでもホームページの外国語標記や外国人生活ハンドブックの刊行、通訳の派遣等を行っているが、今年度は、土浦市多文化共生プランの改定を実施し、外国人市民と日本人市民が同じ土浦市民として互いに尊重し、共に支えながらかつ暮らしやすいまちづくりを進めたい。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会における抜本的な解決策はハード面の整備に頼るものが大きく、産業系立地の誘導は、施策として重要な位置を占めてくるものだと思うが、KPIの中で産業系立地を誘導する区画等の立地件数（資料2 P.9）の達成率が低い。この部分についてどれだけ進められるかは大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業系立地の誘導については、「企業立地促進奨励金制度」において、奨励金の対象範囲を拡大し、新規立地企業の積極的な誘致を図っているが、区画数については、現在本市内の工業団地 66 区画のうち、おおつ野ヒルズの 2 区画を残すのみとなっており、奨励金の交付対象用地の拡大及び PR 方法を今後検討していきたい。